

令和7年度 基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター事業業務報告

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
組織・運営体制	事業を適切に運営するための体制構築	市や他センターとの連携、適正な人員配置の促進など事業を適切に運営するための体制を構築	〈基幹型〉 適正な人員配置の確認 市と各在宅介護・地域包括支援センターの情報や対応の方向性を揃えるため定期的な連絡会の開催	・年度当初（4月）に、各法人が市に提出する人員配置表で、適正な人員配置を確認している。配置状況は資料7-2 1ページ参照 ・毎月第3金曜日に、市と在宅介護・地域包括支援センターにて、定期的に連絡会議を実施している。	
	職員の確保・育成	職員研修の実施、研修への参加等職員の資質の向上に向けた取組を実施	〈基幹型〉 在宅介護・地域包括支援センター職員研修として、定期的な研修会の開催企画・実施	在宅介護・地域包括支援センター職員対応力向上研修会を開催した。 第1回 令和7年7月9日（水） 参加人数 61人 ハイブリット開催 内容：『令和7年度 基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター運営方針並びに事業計画、地域共生社会研修（地域で老いを支える 国際比較からみる地域包括ケアの現在と未来）』 第2回 令和7年8月22日（金） 参加人数 44人 対面開催 内容：『認知症研修（共生社会をつくる認知症カフェ 選択肢をつくる、地域に開く）』 第3回 令和7年9月30日（火） 参加人数 43人 対面開催 内容：『虐待対応研修（認知症の虐待事例報告とグループワーク）』 第4回 令和8年2月3日（火） 参加人数 35人 対面開催 内容：『福祉と司法の連携研修（法テラス制度の具体的利用方法）』	
	利用者が相談しやすい相談体制の構築	夜間・休日の相談対応を実施	〈在支・包括〉 夜間・休日の相談対応	平日夜間及び休日は事務所は休みだが、電話が転送され相談対応を実施している。	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
		基幹型及び在宅介護・地域包括支援センターを市民に周知	<基幹型> 市 HP 活用や配布物を利用した全市的な周知 <在支・包括> 主に担当エリアへ周知	<基幹型> 市 HP、高齢者サービスの手引き及びエンディングノートにおける記載、在支・包括のチラシ等で全市的に周知している。 <在支・包括> 独自チラシ等で、主に担当エリアへ周知している。	
個人情報保護の保護	個人情報保護・情報セキュリティの徹底	個人情報管理体制を構築し、個人情報を適切に管理	<基幹型> 庁内の個人情報、情報セキュリティ研修の実施 <在支・包括> 各法人の個人情報、情報セキュリティに則った研修会を実施（年1回）	<基幹型> 庁内の個人情報、情報セキュリティ研修を実施している。 <在支・包括> 各法人の個人情報及び情報セキュリティの規則に則って、研修会を少なくとも年1回、または、各法人の規定に則った回数、実施している。	
利用者満足度の向上	利用者満足度向上に資する相談・苦情対応体制の整備	苦情に対する対応や苦情内容の記録報告の体制を整備	<基幹型> 苦情に対する対応や苦情内容の記録報告の体制を整備 <在支・包括> 各法人の苦情相談対応の規則に従った体制整備	<基幹型> 相談記録票を利用して、記録を残している。 <在支・包括> 各法人の苦情相談対応の規則に従った体制を整備している。	
	相談者のプライバシーの確保	相談時にプライバシーに配慮した環境を確保	<基幹型> 相談時にプライバシーに配慮した環境を確保 <在支・包括> 相談時にプライバシーに配慮した環境を確保	<基幹型><在支・包括> 相談室を使用して、プライバシーに配慮した環境を確保している。	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
総合相談支援	地域における関係機関・関係者のネットワーク構築	地域ネットワーク構築にむけた社会資源の発見・整備	<基幹型> 全市的な関係機関や庁内における連携、ネットワークの構築 <在支・包括> 地域の社会資源の発見とネットワークの構築	・関係機関が各通常業務の中で、異変の発見、速やかな通報、相談窓口の周知等の取組みに加え、消費者被害・認知症・生活困窮者等の課題に対応するため、「武蔵野市見守り・孤立防止ネットワーク連絡協議会」を開催し、安否確認の対応報告や連携体制の強化に向けた情報交換を行っている。 ・令和2年度までは高齢者支援課が担当だったが、高齢者だけでなく様々な方が孤立しないよう見守っていく地域共生社会を推進するため、令和3年度から、それぞれの孤立防止対応は各課が行い、とりまとめる協議会運営は地域支援課が実施するとした。 ・令和6年4月の孤独・孤立対策推進法の施行に伴い、本市においては孤独・孤立対策の官民連携「プラットフォーム（PF）」として見守り孤立防止ネットワーク連絡協議会を位置づけた。 ・武蔵野市見守り孤立防止ネットワーク連絡協議会の開催（年2回開催） 第1回：令和7年8月4日（月） 第2回：令和7年12月1日（月） ・「第2期武蔵野市成年後見制度利用促進基本計画」（令和6年度～）に基づき、「武蔵野市成年後見制度地域連携ネットワーク連絡協議会」を開催（第1回：令和7年6月23日、第2回：令和8年3月6日）。専門職団体、民生委員、在宅介護・地域包括支援センター、市関係課等の連携を深めた。 <基幹包括> ・食事サービス事業者との情報交換会を書面で開催。食事サービス提供事業者の状況の把握をし、地域の見守り体制の確認をした。 令和7年12月 武蔵野市を配達エリアとする事業者が参加 <在支・包括> 地域連携に係る会議に出席 資料7-2 11～13 ページ参照	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
総合相談支援	地域における高齢者の実態把握	要介護認定の新規申請者等の実態把握及び台帳作成 介護サービス未利用者の定期的な実態把握	〈在支・包括〉 実態把握及び台帳作成 介護サービス未利用者の定期的な実態把握	令和7年4月～令和8年3月までの在宅介護・地域包括支援センターの要介護認定調査件数 ・ゆとりえ 600 件 ・吉祥寺本町 260 件 ・高齢者総合センター 940 件 ・吉祥寺ナーシング 322 件 ・桜堤ケアハウス 672 件 ・武蔵野赤十字 300 件 在宅介護・地域包括支援センター 合計 3,094 件 ・熱中症予防シート及び経口補水液を活用した実態把握については以下のとおり。 〈内容〉 ひとり暮らし・高齢者のみ世帯を中心に熱中症予防シート及び経口補水液を配布することにより、熱中症への注意を喚起し、室内での熱中症を予防する。あわせて、在宅介護・地域包括支援センター職員等が高齢者の実態把握訪問を行う際の手段として活用し、円滑な実態把握につなげる。 〈配布実績〉 熱中症予防シート：民生児童委員 513 枚、ケアマネジャー 355 枚、基幹型地域包括支援センター及び在宅介護・地域包括支援センター等 1,660 枚、市役所窓口等 629 枚 計 3,157 枚 経口補水液：基幹型地域包括支援センター及び在宅介護・地域包括支援センター等 122 個※配布結果についてアンケートを実施 〈配布期間〉 令和7年4月下旬から9月30日まで ・サービス未利用者の実態把握については資料7－4参照	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
総合相談支援	相談事例解決のための対応	初期段階での相談対応及び継続的・専門的な相談支援	<基幹型> 庁内連携や関係機関との連携対応が必要な場合の連絡調整 <在支・包括> 在宅の方の相談支援	引き続き、相談対応については重点をおいて取り組みを実施。相談実人数、相談支援業務延べ数、相談者の区分、相談内容、訪問による相談結果については、資料 7-2 2～5 ページ参照。	
	家族介護者や複合的課題を有する世帯等への支援	家族介護者の相談支援 複合的な課題に対する関係機関との連携	<基幹型> 庁内連携や関係機関との連携対応が必要な場合の相談支援	・家族介護者の相談については、窓口・電話等で対応している。 ・複合的な課題については、内容に応じ、庁内の関係各課及び福祉総合相談窓口と連携している。	
権利擁護	高齢者虐待への対応	介護サービス事業者及びケアマネジャーに対する虐待に関する研修を実施（年 2 回）	<基幹型> 研修会の方向性及び内容の検討、研修会の開催 <在支・包括> 基幹型と連携して、研修内容の検討、研修会の実施	<基幹型><在支・包括> ・武蔵野市高齢者虐待防止研修（第 1 回） 「高齢者虐待防止に関する基礎知識と実践」 講師 一般財団法人権利擁護支援プロジェクト ともす 代表理事 川端伸子氏 日時 令和 7 年 12 月 3 日（水）午後 6 時から午後 8 時オンライン開催 対象者 居宅介護支援事業所及び通所・訪問サービス事業所に所属する職員 出席者 109 人 ・武蔵野市高齢者虐待防止研修（第 2 回） 「高齢者虐待防止における多職種連携」 講師 一般財団法人権利擁護支援プロジェクト ともす 代表理事 川端伸子氏 日時 令和 8 年 2 月 12 日（木）午後 6 時から午後 8 時 集合研修 対象者 居宅介護支援事業所及び通所・訪問サービス事業所に所属する職員 出席者 82 人	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
権利擁護	高齢者虐待への対応	市民に対する虐待防止に関する普及啓発を実施	<基幹型> 普及啓発方法の検討 <在支・包括> 基幹型と連携して普及啓発を実施	<基幹型><在支・包括> 社会福祉士連絡会を中心に、見守りのチラシを作成し、各在宅介護・地域包括支援センターのイベント等で普及啓発のため配布している。	
		高齢者及び障害者虐待防止連絡会議の実施（年1回）	<基幹型> ・障害者福祉課と共催で開催 ・関係各課や機関とともに、虐待防止の取組みについて検討 <在支・包括> 会議に出席	【参加団体】武蔵野警察署、多摩府中保健所、居宅介護支援事業者、地域活動支援センター、地域自立支援協議会権利擁護部会、武蔵野市福祉公社権利擁護センター、在宅介護・地域包括支援センター、武蔵野市障害者福祉センター、地域支援課、生活福祉課、高齢者支援課、障害者福祉課、健康課、子ども子育て支援課子ども家庭支援センター 令和7年7月11日（金）	
		市民に対する見守り・孤立防止に関する普及啓発の実施（年2回）	<基幹型> ・普及啓発方法の検討 ・地域支援課主催の見守り・孤立ネットワーク連絡協議会に出席して関係機関と連携を図る ・普及啓発方法の検討 <在支・包括> 会議に出席	○見守り・孤立防止協定締結団体(R8.3.31現在) ・武蔵野市見守り・孤立防止ネットワーク参加団体数:35団体 ・協定締結団体数:23団体 ・第1回 令和7年8月4日（月） ・第2回 令和7年12月1日（月）	
	消費者被害防止の取組み	・消費者被害防止、防犯対策を目的とした庁内及び関	<基幹型> 会議内容について関係課と調整等。連絡協議会へ出席。	<基幹型> ・令和7年度に消費者安全確保地域協議会を設置。第1回消費者安全確保地域協議会に出席(令和7年4月28日)。 ・消費生活センターの職員が地域ケア会議（エリア会議）に出席し、	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
権利擁護		係機関の連携強化連携会議・消費生活センターとの連携	消費生活センター主催連携会議出席 ＜在支・包括＞ネットワークを活用した個別支援	市内で発生している消費者被害情報提供を行うなど、参加者に注意喚起を行った。 ・「安心・安全ニュース」を2か月に1回発行して、注意喚起を促している。 ＜在支・包括＞警察からの情報提供を活用し、消費者被害についての注意喚起を、個別に実施している。 ・武蔵野市消費者被害防止ステッカーを配布し注意喚起を行っている。	
	人生最期等の過ごし方に対する自己決定支援	エンディング（終活）支援	＜基幹型＞普及啓発方法の検討 ＜在支・包括＞基幹型と連携して普及啓発の実施	令和3年8月に武蔵野市福祉公社の協力のもと武蔵野市版のエンディングノートを作成し、配布を開始した（令和7年度の配布数：582冊）。出前講座の実績（令和7年度の実施数：4回 参加者数：65人）	
包括的・継続的ケアマネジメント支援	介護支援専門員支援体制の構築	主任介護支援専門員研修会開催（年1回）	＜基幹型＞保険者が開催する研修会に参加、出席	武蔵野市主任介護支援専門員研修への出席 内容：「ICT機器の有効活用によるケアマネ業務の効率化について」 講師：株式会社マロー・サウンズ・カンパニー 代表取締役 田中紘太氏 日時：令和8年3月16日（月）	
		介護支援専門員研修会開催（年1回）	＜基幹型＞保険者が開催する研修会に参加、出席	武蔵野市ケアマネジャー全体研修への出席 内容：「ケアマネジャーの本来業務について」 講師：東京都介護支援専門員研究協議会 理事長 相田里香氏 日時：令和8年3月30日（月）	
	介護支援専門員に対する相談対応	困難事例に対する相談支援	＜基幹型＞課題解決のため、多機関と連携・調整 ＜在支・包括＞ケアマネジャーと連携した個別支援	＜基幹型＞庁内関係各課、他機関等との連携や調整を行い、在宅介護・地域包括支援センターが行うケアマネジャー支援がより円滑に進められるよう体制づくりを行う。 ＜在支・包括＞ケアマネジャーが担当する個別事例について相談を受けるだけでなく具体的な支援も行っている。	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
地域ケア会議	個別課題や地域課題解決のため、関係者との連携による地域ケア会議の開催	ケアプラン指導研修の実施（年約60件個別ケース）	<基幹型> 会議・研修の運営 <在支・包括> 委員として出席	介護支援専門員から提出されたケアプランをもとに基幹型地域包括支援センター、在宅介護・地域包括支援センターの主任介護支援専門員等、武蔵野市住宅改修・福祉用具相談支援センターに所属する専門職（PT、OT、ST、排泄ケア専門員）、基幹相談支援センター（障害者福祉課）、保険者等により「ケアマネジメントの質の向上」を目的とした会議を開催。会議の結果を事例提出者へ在宅介護・地域包括支援センターの主任介護支援専門員が面接で伝える。 第1回 令和7年5月28日(水) 事例数 5 第2回 令和7年6月25日(水) 事例数 6 第3回 令和7年7月23日(水) 事例数 5 第4回 令和7年8月27日(水) 事例数 7 第5回 令和7年9月24日(水) 事例数 5 第6回 令和7年10月22日(水) 事例数 8 第7回 令和7年11月26日(水) 事例数 6 第8回 令和7年12月24日(水) 事例数 8 第9回 令和8年1月28日(水) 事例数 8 合計 58 事例（ケアマネジャー57名、21事業所） ケアプラン指導研修フォローアップ研修 日 時：令和7年4月21日(月) ZOOMによるオンライン 研修内容：講演会『難聴がもたらす認知症のリスク ～高齢期の難聴とヒアリングフレイル予防の取り組み～』 講師：聴脳科学総合研究所 所長 中石 真一路 氏 出席人数：介護支援専門員 87名	
				ゆとりえ（東部第1） ① 令和7年6月19日(木) 事例検討『認知面に不安のある高齢者の財産を守る支援』 ② 令和7年9月18日(木) 事例検討『進行性難病と向き合って暮らすための支援』	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
地域ケア会議	個別課題や地域課題解決のための、関係者との連携による地域ケア会議の開催	地区別ケース検討会における事例検討の実施（年約30回 センターごとに年5回）	<基幹型> 地区別ケース検討会の開催支援 <在支・包括> 地区別ケース検討会の開催	③ 令和7年10月16日（木） 事例検討『サービス導入が難しい複数の困難を抱える家族への支援』 ④ 令和7年11月20日（木） 事例検討『認知機能低下がある高齢者の意思決定支援』 ⑤ 令和8年1月15日（木） 事例検討『意欲低下が著しい独居高齢者の支援』 ⑥ 令和8年2月19日（木） 事例検討『統合失調症の方の支援について』 吉祥寺本町（東部第2） ① 令和7年6月18日（水） 事例検討『キーパーソン不在の利用者の支援～活用できる社会資源を考える～』 ② 令和7年7月16日（水） 事例検討『若年性認知症利用者が高齢となった今、本人と家族の支援について考える ～ケアマネが備えておくべき知識～』 ③ 令和7年9月17日（水） 事例検討『独居でせん妄や認知症症状のある高齢者の支援を考える』 ④ 令和7年10月15日（水） 事例検討『サービス利用にあたり理不尽な要求の多い利用者の支援を考える』 ⑤ 令和7年11月19日（水） 事例検討『家族協力が必要な認知症のある独居生活高齢者の独居生活を考える』 ⑥ 令和7年12月17日（水） 事例検討『訪問診療が入っているにも関わらず通院支援が必要なケースについて考える』 ⑦ 令和8年2月18日（水） 事例検討『ケアマネ交代時に揺らぐ信頼をどう立て直すかを考え	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
地域ケア会議	個別課題や地域課題解決のため、関係者との連携による地域ケア会議の開催	地区別ケース検討会における事例検討の実施（年約30回 センターごとに年5回）	<基幹型> 地区別ケース検討会の開催支援 <在支・包括> 地区別ケース検討会の開催	る』 高齢者総合センター（中央第1） ① 令和7年6月20日（金） 事例検討『本人の意向に寄り添った支援とは』 ② 令和7年7月18日（金） 事例検討『73歳認知症の男性が、妻との二人暮らしを長く続けるための支援とは』 ③ 令和7年9月19日（金） 事例検討『認知症の方を支える家族の関わり方について』 ④ 令和7年10月17日（金） 事例検討『認知症の方の意向尊重について』 ⑤ 令和7年11月21日（金） 事例検討『多くの問題を抱えるAさんへの支援。これってケアマネの仕事？どこに頼めばいいの？～多職種連携を考える～』 吉祥寺ナーシングホーム（中央第2） ① 令和7年6月12日（木） 事例検討『信頼関係が築きにくい家族との関わり～今後の支援の相談ができず悩んでいるケース～』 ② 令和7年7月10日（木） 事例検討『施設入所の意向があるが迷い続けている事例～本人の今を支えるためにできる支援とは～』 ③ 令和7年10月9日（木） 事例検討『課題整理に難航している事例』 ④ 令和7年12月18日（木） 事例検討『精神科での治療が必要だと考えたが繋げるのが困難だったケース』 ⑤ 令和8年2月12日（木） 事例検討『あらゆる支援に拒否的なケースを在宅で看とるまで～長い経過の中で見落としたことはなかったか～』 桜堤ケアハウス（西部第1）	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
地域ケア会議	個別課題や地域課題解決のため、関係者との連携による地域ケア会議の開催	地区別ケース検討会における事例検討の実施（年約30回　センターごとに年5回）	<基幹型> 地区別ケース検討会の開催支援 <在支・包括> 地区別ケース検討会の開催	① 令和7年6月17日（火） 事例検討『変化を好まない本人と、ヤングケアラーである主介護者への支援』 ② 令和7年7月15日（火） 事例検討『退院後、独居困難と言われている利用者～本人らしい生活を送るために必要な支援について～』 ③ 令和7年9月16日（火） 事例検討『心疾患の不安を抱える自律心の強い独居高齢者への支援～不安にどのように寄り添うべきか～』 ④ 令和7年11月18日（火） 事例検討『若年性アルツハイマー型認知症の方の支援について～心地よい場所は自宅なのか、本人の気持ちを理解したい。在宅の限界とは、どこに視点を置くか～』 ⑤ 令和7年12月16日（火） 事例検討『レビー小体型認知症の方の支援について～在宅生活限界との見立ての元でその人らしい生活をどのようにサポートするか～』 武蔵野赤十字（西部第2） ① 令和7年5月15日（木） 事例検討『長女からの不適切ケアが認められる事例～無年金・難病の在宅療養生活を支援するには～』 ② 令和7年7月17日（木） 事例検討『入居者に暴力をふるう男性利用者。暴力をふるわせないためには』 ③ 令和7年9月18日（木） 事例検討『家族喧嘩？虐待？ケアマネとして考える『通報のタイミング』～認知症の症状を理解できない家族～』 ④ 令和7年11月20日（木） 事例検討『独居から施設入所を検討している利用者の支援』 ⑤ 令和8年2月19日（木）	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
地域ケア会議	個別課題や地域課題解決のための、関係者との連携による地域ケア会議の開催			事例検討『老々介護世帯・医療依存度が高い事例（痰吸引・ストマ・胃瘻・ACP）』	
		個別地域ケア会議の開催（年18回センターごとに年3回）	〈基幹型〉 開催内容の検討・整理 〈在支・包括〉 会議開催	資料7-3 2～5、7～10、13～16、18～20、22～24、26～29ページ参照	
		エリア別地域ケア会議の開催（年6回センターごとに年1回）	〈基幹型〉 開催支援 〈在支・包括〉 会議開催	資料7-3 6、11～12、17、21、25、30～31ページ参照	
		全市的地域ケア会議への出席	〈基幹型〉 会議内容について関係各課・関係機関と調整等 〈在支・包括〉 会議に出席 〈基幹型〉 会議内容について関係各課・関係機関と調整等 〈在支・包括〉 会議に出席	武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会（年2回） 第1回 7月10日、第2回 3月6日 ① 入退院時支援部会 第1回 7月1日、第2回 1月14日 ② ICT連携部会 第1回 7月31日、第2回 10月6日、第3回 1月8日 ③ 多職種連携推進・研修部会 第1回 7月30日、第2回 8月28日、第3回 12月1日、10月16日（研修・グループワーク） ④ 普及・啓発部会 第1回 7月2日、第2回 12月9日、11月28日（講師打ち合わせ）、12月6日（市民セミナー） ⑤ 認知症連携部会 第1回 8月6日、第2回 12月10日、第3回 1月29日	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
地域ケア会議	個別事例や地域課題解決に向けた地域ケア会議の活用	個別地域ケア会議及びエリア別地域ケア会議における計画書及び報告書の提出	<基幹型> 計画・報告様式を作成 在支・包括に情報提供 <在支・包括> 計画書・報告書の作成。会議開催後3～6か月を目途に状況確認	・在宅介護・地域包括支援センターは、エリア別地域ケア会議4週間前を目処に地域ケア会議計画書を基幹型地域包括支援センターに提出する。 ・提出された計画書をもとに支援の方向性や会議の進行等について、基幹型地域包括支援センターと在宅介護・地域包括支援センターで確認を行った。 ・個別地域ケア会議及びエリア別地域ケア会議の開催後3～6か月を目処に状況を確認し報告書を提出。	
介護予防ケアマネジメント	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の取り組み	要支援認定者・総合事業対象者のサービスの質の担保 ・介護予防個別検討会議の実施（サービス利用全ケース）	<基幹型> ・サービス利用の要支援認定者・総合事業対象者全員の介護サービスプランの検討 ・介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の委託事業所の支援	ケアプラン作成件数等については資料7-2 9ページを参照	
在宅医療・介護連携	在宅医療・介護連携に向けた取り組み	在宅医療介護連携支援室と協働した医療介護連携の取組推進	<基幹型> ・在宅医療介護連携支援室と連携・調整し、相談に対応 ・在宅医療介護連携推進協議会に出席 <在支・包括> 医療介護連携に関する相談機能を強化	武蔵野市在宅医療介護連携支援室（平成27年7月に武蔵野市医師会内に開設）の活動実績（令和7年4月～令和8年3月までの実績） ・相談件数：172件 相談内容：在宅療養調整 76件、入院入所調整 17件、退院支援 6件、転院支援 9件、MCS18件、COVID 7件、その他 39件 - 相談元：医療機関 32件、基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター 44件、ケアマネジャー46件、訪問看護 7件、訪問介護 0件、通所サービス 2件、施設 7件、その他 29件 ・訪問件数：117件	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
在宅医療・介護連携	在宅医療・介護連携に向けた取り組み			訪問先：医療機関58件、基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター28件、訪問看護3件、ケアマネジャー15件、通所1件、施設4件、有料老人ホーム5件、その他3件	
		入退院時支援・在宅医療介護連携の調整	<基幹型> ・医師会・地域支援課・関係機関と連携・調整 ・入退院支援部会に出席 <在支・包括> ・連携・相談の強化 ・個別事例の支援	・武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会の入退院支援部会の部会員として参加。 ・「入院時の情報連携シートの活用」等の連携のためのツールを周知、活用 ・入退院時の支援について、医療・介護それぞれの立場から意見交換を行った。 ・第1回令和7年7月1日（火）午後7時～午後8時30分 ・第2回令和8年1月14日（水）午後7時～午後8時30分	
		摂食嚥下支援体制の整備・推進	<基幹型> 歯科医師会・地域支援課・関係機関と連携・調整 <在支・包括> 個別事例の支援	・令和7年度は、市内通所介護事業所での摂食嚥下機能評価を推進し、実施した。事業所では、事前にスクリーニングを行い、当日はスクリーニングをもとに事前カンファレンス、ミールラウンド、事後カンファレンスを行う。また、振返りを兼ねて、歯科医師会、ケアマネジャー、通所介護事業所、市で意見交換会を行った。 とらいふ武蔵野 【ミールラウンドの実施】 日時：令和7年9月8日（月） 対象者：3名 【意見交換会】 日時：令和7年12月22日（月） 参加者：歯科医師会、とらいふ武蔵野、高齢者支援課	
		認知症支援コーディネーター（認知症地域支援推進員）の配置に	<基幹型> 武蔵野赤十字病院や医師会と連携した認知症初期集中支援チームの支援によ	・認知症支援コーディネーター（認知症地域支援推進員）を市内6か所の在宅介護・地域包括支援センターに配置 ・保健師等連絡会議（旧認知症コーディネーター会議）	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
認知症 高齢者支援	認知症高齢者支援の取り組み	よる認知症連携の強化	り、適切な医療・介護につなぐ。 〈在支・包括〉 認知症初期集中支援チーム等の仕組みを活用し、認知症の早期発見・早期対応に取り組む。	在宅介護・地域包括支援センターの保健師による会議を定期的を開催し、認知症、フレイル予防等に関する地域づくりや支援体制の整備について情報共有及び協議を行う。 ・認知症アウトリーチチーム 該当ケースなし（対応困難ケースとして、医療機関への連絡調整、受診手配、かかりつけ医との連携等を行い対応しているため。） ・認知症サポーターステップアップ講座の企画・運営、認知症相談への同席による適時適切な関係機関との連携、地域への認知症普及啓発の促進を目的とする独自講座の企画などを実施。	
		在宅医療・介護連携推進協議会の認知症連携部会の運営支援（年3回）	〈基幹型〉 会議開催 〈在支・包括〉 会議に出席	・医師会、薬剤師会、認知症疾患医療センター等の医療関係者と、在宅介護支援事業者、通所介護事業者等介護事業所関係者、在宅介護・地域包括支援センター職員、行政職員などで構成。 ・認知症高齢者支援のための在宅医療・介護連携体制の構築・推進に関する事項のうち、主として以下の事項について検討することを目的とし、年2～3回程度開催。 ○第1回部会：令和7年8月6日（水）オンライン開催 今年度の取り組み（案）について協議した。 ○第2回部会：令和7年12月10日（水）武蔵野市役所西棟 412 会議室 「日本版 BPSD ケアプログラムの活用事例紹介・意見交換会」 【事例紹介者】 ・ナースケアたんぼぼの家 千葉信子氏、小笠原慎氏 ・デイサービスすずらん梅丘 佐藤勝宣氏 ○第3回部会：令和8年1月29日（木）オンライン開催 BPSD ケアプログラム事例紹介の振り返り	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
認知症 高齢者支援	認知症高齢者支援の取り組み	もの忘れ相談シートの活用促進	<基幹型> シートの活用・周知等 <在支・包括> 認知症相談や認知症症状で医療機関に受診する際に、シートを積極的に活用	○もの忘れ相談シート活用件数ー合計 76 件活用 認知症相談ー61 件（在支・包括、市役所実施分）、認知症疾患医療センターによる相談会 9 月ー 2 件、3 月ー 2 件、在支・包括活用分ー11 件 ※医師会による休日相談会はもの忘れサポート検診事業開始に伴い開催せず。	
		認知症相談事業の実施	<基幹型> ・認知症専門相談員による相談会の開催 ・医師による相談会の開催 <在支・包括> 相談に同席し、助言を行う。	・月 3 回、市役所または在宅介護・地域包括支援センターを会場にした認知症予防財団相談員による認知症相談を実施。令和 2 年 6 月より新型コロナウイルス感染症拡大防止のため電話相談も可として実施。 相談件数：61 件（令和 8 年 3 月末現在） ・認知症疾患医療センターと協働した認知症相談（無料相談会）の実施 令和 7 年 9 月 9 日（火）相談件数：2 件 令和 8 年 3 月 3 日（火）相談件数：2 件	
	認知症高齢者支援の取り組み	認知症初期集中支援チームの運用	<基幹型> 認知症初期集中支援チームの支援及び評価 <在支・包括> 認知症初期集中支援チームの運用	・認知症初期集中支援事業 新規実施 0 件（検討件数 3 件） 全事例において、チーム支援検討会議にてチーム支援適応の有無を確認。 本人・家族、かかりつけ医、認知症サポート医、武蔵野赤十字病院認知症疾患医療センター相談員、基幹型、在支・地域包括支援センター等がチームとなり認知症のある方の課題解決のため取り組みを行う。	
				・認知症サポーター養成講座の実施 講座開催数 20 回（内：定例実施 7 回） 延受講者数 314 名 ・認知症サポーターステップアップ講座の実施（連続講座）全 4 回 第 1 回 「認知症カフェ「ほっとサロン武蔵野」に参加しよう！」	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
認知症 高齢者支 援	認知症高齢 者支援の取 組み	認知症に関す る普及・啓発	<基幹型> ・認知症サポーター 養成講座等普及啓発 方法の検討 ・チームオレンジの 活動について検討 <在支・包括> 基幹型と連携して普 及啓発を実施	開催日 令和7年6月5日（木） 内 容 ・認知症カフェに参加し、参加者（本人、家族、地域の人）と認知症について語り合う。 ・武蔵野市の認知症カフェをととして、各地域の認知症に関する取組みを知る。 ・認知症サポーターの活躍の場を体験する。 会 場 武蔵野スイングホール 11 階レインボーサロン A 受講者 10 名 第2回 「具体的な事例を通して、認知症の方への接し方を学ぼう」 開催日 令和7年7月18日（金） 講 師 菅 朋江氏（認知症予防財団） 会 場 武蔵野市役所西棟 811 会議室 受講者 33 名 第3回 「グループワーク・地域活動紹介」 開催日 令和7年11月11日（火） 内 容 グループワーク、地域活動紹介 会 場 武蔵野市役所西棟 812 会議室 受講者 11 名 第4回 「認知症サポーターズミーティングに参加しよう！」 開催日 令和7年12月9日（火） 会 場 武蔵野スイングホール 11 階レインボーサロン A 内 容 認知症カフェを運営しているグループの話し合いに参加し、地域活動の意義を学ぶ。 受講者 9 名 ・サポーターズミーティング 認知症サポーターステップアップ講座修了者がチームオレンジの活動として、認知症カフェを実施。 ① ミーティング 第1回 日時：令和7年5月8日（木）	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
認知症 高齢者支援	認知症に関する普及・啓発	認知症に関する普及・啓発	<基幹型> ・認知症サポーター養成講座等普及啓発方法の検討 ・チームオレンジの活動について検討 <在支・包括> 基幹型と連携して普及啓発を実施	場所：スイングホール 11 階レインボーサロン A 参加：6 名 第 2 回 日時：令和 7 年 12 月 4 日（木） 場所：スイングホール 11 階レインボーサロン A 参加：13 名 第 3 回 日時：令和 8 年 3 月 11 日（水） 場所：武蔵野市役所西棟 1 1 2 会議室 参加：6 名 ② 認知症カフェ 第 6 回ほっとサロン武蔵野 日時：令和 7 年 6 月 5 日（木） 場所：スイングホール 11 階レインボーサロン A 参加：22 名 第 7 回ほっとサロン武蔵野 日時：令和 8 年 1 月 24 日（土） 場所：スイングホール 11 階サインボーサロン A 参加：9 名 ・オレンジガーデンサポーター（グリーンカーテン） 地域の高齢者のフレイル予防及び認知症のある方の社会参加の機会として、おおむね 65 歳以上の方、認知症のある 65 歳未満の方を対象に市役所 1 階正面玄関のゴーヤへの水やりとラジオ体操を実施した。夏季期間終了後はプランターに花を植え、育てている。令和 7 年度より、「いきいきガーデンサポーター」から名称変更。	
		もの忘れサポート検診の実施	<基幹型> ・事業実施にあたり医師会と連携 <在支・包括> 検診受診後の訪問・連絡	・もの忘れサポート検診の実施 令和 7 年度より、認知症に関する正しい知識の普及啓発と認知症の早期の診断及び対応を促進することを目的に「もの忘れサポート検診」を開始した。対象者は同年度 50 歳以上で検診を希望する者で、検診を実施する日において認知症の診断を受けていない者とした。また、同年度 65 歳、70 歳となる者へ検診の受診勧奨を行った。 実施期間 令和 7 年 7 月 1 日（火）から 9 月 30 日（火）まで 受診者数 311 人 ・認知症予防プログラム	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
認知症 高齢者支援	認知症に関する普及・啓発	もの忘れサポート検診の実施	<基幹型> ・事業実施にあたり医師会と連携 <在支・包括> 検診受診後の訪問・連絡	① LINEで脳活！ LINEやネット検索を活用し、仲間と情報交換やイベントの計画を立てながら交流することで、脳を活性化させる。プログラムを通じて仲間づくりができ、終了後も仲間と一緒に活動を継続することができる。 期 間 令和8年1月6日～3月24日（毎週火曜日全12回）で実施 参加者 午前の部 6名 午後の部 4名（3月24日終了時点） ② 料理で脳活！ 料理をすることは、脳を活性化させる働きがある。脳に良いとされる食材や食生活について学びながら、実際にバランスの良い食事作りを楽しむことで、日々の生活に役立てることができる。 期 間 令和8年1月21日、28日、2月4日（毎回水曜日全3回）で実施 参加者 9名（2月4日終了時点） ・囲碁講座 誰もがなり得る認知症に対して、認知機能低下予防として有効性のあるとされる囲碁のイベント「アタマを鍛える囲碁入門教室」を日本棋院の協力のもと実施。 日 時 9月2日、9日、16日（火） 場 所 武蔵野市役所西棟811会議室 参加者 1回目：62人 2回目：58人 3回目：55名	
		聴こえの支援事業	<基幹型> ・事業実施にあたり医師会と連携 <在支・包括> 事業の周知・利用促進	補聴器購入費補助事業 ○目的 加齢により聴力が低下しても、住み慣れた地域でその人らしい日常生活が続けられるよう補聴器購入費補助等の支援を行う。 令和7年度交付人数248件	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
生活支援 体制整備	生活支援 コーディネーターや 協議体と連携した取組 み	生活支援コー ディネーター を中心とした 地域の自主的 な取組みの支 援 地域住民が自 主的に運営す る多様な通い の場を支援	<基幹型> 地域の関係機関や団 体との連携 <在支・包括> いきいきサロン等の 社会資源の立ち上げ 支援、事業の継続支 援	・通いの場（テンミリオンハウス、いきいきサロン、健康やわら体操、不老体操、地域健康クラブ）への参加者実人数、テンミリオンハウス 989 人（登録者数）、いきいきサロン 407 人（登録者数）、健康やわら体操 129 人、不老体操：365 人、地域健康クラブ 1,053 人 計 2,943 人 ・生活支援コーディネーターの活動実績は資料 6 のとおり	
		生活支援サー ビス整備に関 する定期的な 情報共有や連 携強化等のた めの協議体と 連携 ・第 1 層（市 全域レベル） 「地域包括ケ ア推進協議 会」を協議体 として位置付 け ・第 2 層（日 常生活圏域レ ベル）の協議 体は既存の会 議等を活用	<基幹型> ・生活支援コーディ ネーター連携会議 の開催 ・地域包括ケア推進 協議会への報告 <在支・包括> ・生活支援コーディ ネーター連携会議 に出席 ・各地域での協議会 への参加	・第 1 回地域包括ケア推進協議会（第 1 層協議体）を令和 7 年 6 月 30 日（月）に開催（WEB 併用）。 ・第 2 回地域包括ケア推進協議会（第 1 層協議体）を令和 8 年 1 月 13 日（火）に開催（WEB 併用）。 ・生活支援コーディネーター連携会議 第 1 層及び第 2 層の生活支援コーディネーターによる会議を隔月に開催し、地域の自主的な取組みや、生活支援コーディネーターの活動を通しての地域課題等についての情報共有、検討を行った。 日常生活圏域レベル（第 2 層）の協議体相当 205 回	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
一般介護予防	介護予防推進にむけた取組み	フレイル予防・介護予防の取組みを推進	〈基幹型〉 健康寿命延伸のためにフレイル予防・介護予防事業の企画、実施 〈在支・包括〉 基幹型と連携して、フレイル予防・介護予防事業を実施	資料7-2 14ページ参照	
		介護予防事業連絡調整会議の開催	〈基幹型〉 フレイル予防・介護予防のきっかけづくりや実際の取組みについて、庁内介護予防事業関連部署、団体と検討、実施	・高齢者総合センター（社会活動センター）、健康づくり事業団（健康づくり支援センター）、健康課、生涯学習スポーツ課、高齢者支援課の担当職員による介護予防事業連絡調整会議担当者会議の実施。 第1回 令和7年7月15日（火）開催 ・令和7年度介護予防事業・健康づくり事業の情報交換 ・「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」について 第2回 令和7年12月23日（火）開催 ・令和7年度介護予防事業・健康づくり事業の情報交換	

事業項目	事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
指定介護予防支援	・介護保険における予防給付等の対象となる要支援者への介護予防サービス計画の作成及び関係機関との連絡調整 ・介護保険制度の適切な運営による自立支援・重度化防止の推進	〈基幹型〉 ・指定介護予防支援事業所として、契約・サービス担当者会議への出席・給付管理業務を実施 ・軽度者（要支援1・2、総合事業対象者）のサービス担当者会議全件に立ち合い、サービスの質の担保を図る 〈在支・包括〉 指定居宅介護支援事業所として受託	介護予防マネジメント（事業対象者）および介護予防サービスの利用者のサービス担当者会議に出席し、介護予防等に関する助言や提案を行った。 ケアマネジャーによる、自立支援に資するケアマネジメントが提供されるよう、毎週1回基幹型包括で介護予防検討会議を実施。令和7年4月から令和8年3月まで 50回 283件の検討を行った。	
	災害時避難行動支援体制の推進	〈基幹型〉 介護予防支援事業所としての業務継続計画を実施	感染症や自然災害が発生した場合であっても、介護サービスが安定的・継続的に提供されることが重要である。直営だけではなく委託先との連携もふまえ、業務継続計画を作成し、実施している。	
感染症対策予防	感染症対策予防の推進	〈基幹型〉 庁内関係部署と連携を図り、感染対策予防等の普及啓発及び実施	感染症対応レスキューヘルパー、いきいき支え合いヘルパーそれぞれを対象とした感染症マニュアル（第2版）を活用した。	